

# 皮下植込み型除細動器（S-ICD）植込み患者の PRAETORIAN Score による除細動インピーダンスの予測

## ■ 研究の対象となる方

2016年2月～2021年1月に当院で皮下植え込み型除細動器（S-ICD）の治療を受けられた方

## ■ 目的・方法

皮下植え込み型除細動器(以下、S-ICD)は、完全皮下植込みのリードを使って、致死性不整脈(心停止の原因となる不整脈)が発生したときに電気ショックを送り正常な心拍に戻す器械です。従来の静脈から心臓の中に固定する経静脈リードによる植え込み型除細動器(ICD)と比較し、デバイス感染症やリード抜去時のリスク等が減少し、リード断線も起こりにくくなるという利点があります。

S-ICD では、致死性不整脈が生じた際に、きちんと電気ショックが不整脈を停止させることができるかどうか、術中にわざと不整脈を発生させ、電気ショックを起こす除細動テストを行っております。ただ、電気ショック自体が心臓に負担をかけると言われております。

そこで、除細動成功率を予測する指標として、胸部レントゲン写真より計測できる PRAETORIAN Score が近年注目されております。ただ、この指標は、海外で提唱されたもので体格的に異なる日本人に当てはまるかは疑問が残るところです。

この研究では、この PRAETORIAN score が、除細動成功率に変わる評価として、術中に行った除細動テスト時の除細動閾値・ショックインピーダンスといった値と相関するかを検討します。

診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。収集した情報は個人情報削除し、解析・検証を行います。

## ■ 実施期間

2022年2月3日～2022年12月31日

## ■ 研究に使用する情報

年齢、性別、身長、体重、基礎心疾患、レントゲン上の S-ICD の位置、術中の S-ICD のデータ 等

## ■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。また、本研究の成果は学会等での公表を予定しておりますが、個別にご説明することも可能です。いずれも下記へお申し出下さい。

試料や情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<b>連絡先</b>	済生会熊本病院 循環器内科 吉村 あきの（研究責任者） 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
------------	--